

カルスト通信

も り

森林のたより

Karst
correspondence

2006
vol.13



カルスト森林組合

枝打ちの補助が
復活しました!!

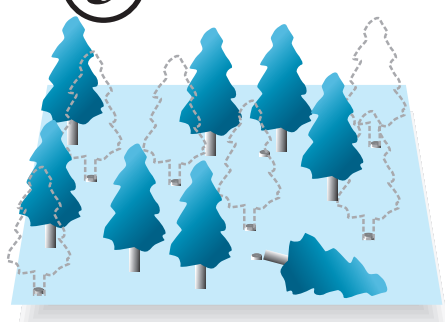
保安林の取り扱い

森林の中には、保安林に指定されている箇所があります。
手入れをされる時は、下記のような規制がある場合がありますので、ご紹介いたします。
解りにくい点がありましたら、山口県美祢農林事務所 森林部 (TEL0837-52-1071)
または、カルスト森林組合にご相談ください。

指定施業要件について

保安林に指定されると、その森林が保安林としての働きを果たすために必要最低限守らなければならない森林の取り扱い方法が定められます。これを指定施業要件と言います。指定施業要件の主な基準について紹介いたします。

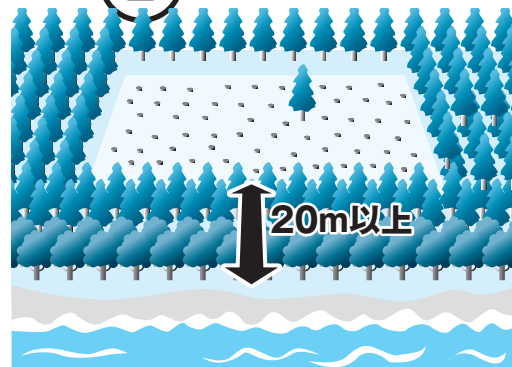
③ 間伐をする場合



間伐率の上限 **35%**

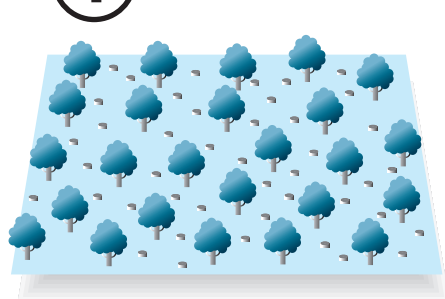
- 保安林で間伐をする場合は、届け出が必要で、間伐の指定がされていない保安林では間伐できません。
- 間伐する場合は、間伐率は35%（材積率）が上限です。
- ただし、原則としておおむね5年後に樹冠疎密度80%以上に回復することが確実でない間伐率にすることはできません。
- 樹冠疎密度が80%に達していない森林では間伐できません。

① 皆伐をする場合



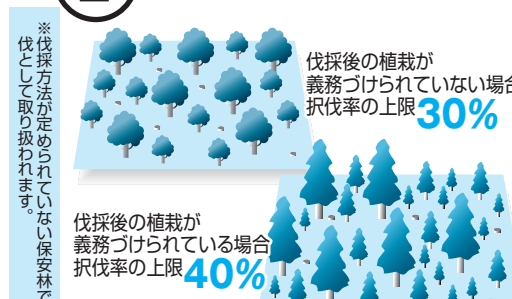
- 保安林で皆伐をする場合は許可が必要です。伐採方法が択伐または禁伐とされている保安林では皆伐できません。
- 皆伐する場合の基準
- 定の区域ごとに年間に伐採できる面積が決まっています。
- 箇所当たりの伐採面積の上限が保安林ごとに決まっています。
- 防風・防雪保安林では、20m幅以上の帯状の林帯を残さなければなりません。
- 標準伐期齢に満たない立木は伐採できません。

④ 伐採跡地への植栽



- 指定施業要件として伐採後の植栽が義務づけられている保安林では、植栽しなければなりません。
- 伐採跡地への植栽の基準
- 満1年以上の苗木をおおむね、成長量に応じて保安林ごとに定められている1ha当たりの本数以上均等に植栽しなければなりません（天然更新本などの占有する区域を除いた面積について算出します）。
- 伐採後の植栽本数は上記の本数に択伐率を乗じた本数です。
- 植栽木には、保安機能の維持または強化を図り、かつ、経済的利用に資することができ、樹種が指定されています（木材利用目的以外の樹種でも保安機能が維持できる多様な樹種が指定されます）。
- 伐採後2年以内に植栽しなくてはなりません。

② 択伐（抜き伐り）をする場合



- 天然林の保安林で択伐をする場合は許可が、人工林の保安林で択伐をする場合は届け出が必要で、伐採方法が禁伐とされている保安林では択伐できません。
- 択伐する場合の基準
- 伐採後に植栽を行うことが義務づけられている場合、択伐率の上限は40%（材積率です）（ただし、伐採後に標準伐期齢時点の蓄積の70%以上の森林蓄積が維持されること）。
- 伐採後の植栽が義務づけられていない場合、伐採後の植栽が義務づけられている場合、択伐率の上限は40%です。
- ただし、前回の伐採後の成長量以上の伐採はできません。
- 標準伐期齢に満たない立木は伐採できません。

※上記の青文字で示した部分は平成14年度より新たに指定される保安林に適用されています。既に指定されている保安林については、あらかじめ指定施業要件の変更の手続きが必要です。国、都道府県では現在、計画的に手続きを進めています。
※除伐や倒木・枯死木の伐採など、許可のいない場合や、届け出だけで伐採できる場合もあります。



収益確保に向けての
様々な取り組みを!!

秋山組会長あきやま くにひろ

組合員の皆様方には、平素から組合事業の推進に当たりまして、格別のご理解とご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。
ご案内のように、森林・林業を取り巻く、このほか厳しい環境の下、地域林業の振興とカルスト森林組合の安定した運営に向けて、全精根を傾注しているところであります。
平成17年度におきましては、国の構造改革政策に伴う「三位一体改革」の推進、長引く木材価格の低迷などにより、林業採算性が極めて悪化している中、先人の方々が今まで営々と育まれてきたスギ・ヒノキ人工林を対象にした積極的な間伐の推進と発生する間伐材の治山工事用資材への加工・販売に着手するとともに、成熟しつつある森林（36年生以上60年生以下）の抜き伐りにより発生する木材を有効に活用すべく、「機能増進保育事業」の導入のための条件整備を行い、低コスト効率的な搬出に向けての研さんを重ねているところであります。

また、昨年、本県に再三襲来した台風による未曾有の被災森林の復旧対策を継続実施するとともに、本年度新たに創設された「やまぐち森林づくり県民税関連事業」を導入して、現在、長年放置されたスギ・ヒノキ人工林整備や繁茂竹林の防止対策にも取り組んでいます。このような森林や竹林をお持ちの方は、是非とも管轄の市役所・町役場から組合にご相談ください。さらに、組合の収益確保の観点から、平成18年4月より秋芳町の「秋吉台家族旅行村」の管理委託を受け、森林の大切さや木材の良さ、地元産木材の循環利用の必要性をPRする拠点施設として活用するなど、組合経営の安定に結びつけていきたいと思料しております。私といたしましては、このような取り組みを進めつつ、組合広報誌「森林のたより」や地区座談会を通じ、業務の内容をお知らせし、組合員の方々のご意見をいただきたいと考えております。

終わりに当たり、現下の森林・林業を取り巻く厳しい環境の中ではありますが、決意を新たにしまして組合員の期待に応えるため、役職員一丸となり地域林業の振興と安定した組合運営に全力で取り組むことにより、組合員の皆様に報いて参りたいと思っておりますので、関係各位の絶大なご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

森林所有者の皆様へお知らせ
山口県では、健全な森林を次の世代に引き継ぐため、昨年4月より「やまぐち森林づくり県民税」を活用した新たな“森林づくり”を進めております。森林の手入れをしようにも、どうしても行き届かずお困りの方は是非ご相談ください。

スギ・ヒノキの36年生以上が対象です。

- 箇所の選定は市町村役場が行います。
- 必要経費は県が支援します。
- 皆様と協定を結びます。

お問い合わせ

カルスト森林組合
担当／森林整備課
TEL／0837-52-3332
FAX／0837-52-2587
山口県美祢農林事務所
担当／森林部
TEL／0837-52-1071
FAX／0837-52-1689

事業要望
森林所有者

協定

箇所の決定
山口県

箇所の選定
市町村

事業実施

わかる範囲で
お知らせください。

- ① 森林所有者の住所、氏名、及び電話番号
- ② 森林の所在地
- ③ 樹種、林齢、面積
- ④ 現地の状況

施業内容

手入れが行き届かない
荒廃森林



強度な間伐



下草の回復



針葉樹・広葉樹混交林



やまぐち
森林づくり
推進協議会

第1回

美秋木材まつり

地元産木材の需要拡大を通じて

盛大に開催!

林業・木材産業の活性化と森林の健全化を目指して

- **農林産物等の展示・販売**
担当 森林組合
- **木製品の展示販売**
ウッドシステム美秋グループ会員、ウッドジャズ、森の子、和楽工房「百夢」、県木材協会出店
- **椎茸等特用林産物**
県新炭同業協会、県椎茸農協、林研グループ
- **竹炭製品の販売**
竹炭の里事業協同組合
- **林業機械等の展示販売**
西山商会、コバヤシ
- **住宅メーカー展示**
(株)小田工務店(有)蔵永木材店、(株)よしの
- **緑の相談**
樹木医(藤原俊廣先生)
- **野菜等**
山口美祢農協、単位林研グループ
- **その他**
本地フォレスト事業部、山陽チップ
- **木材の無償提供**
ウッドシステム美秋グループの会員から提供の木材を、来場者に無償提供したところ大変好評

木材の無償提供



木製品の展示販売



担当 森林組合

3 森林の利用

農林産物等の展示・販売



はじめに

カルスト森林組合管内においては、昔から活発な林業生産活動を通じて、スギ林やヒノキ林などの豊かな森林資源を育み、地域住民はこれら森林から様々な恩恵を受けてきました。しかしながら、昨今の森林・林業を取り巻く環境はこのほか厳しく、林業生産活動も停滞傾向にありますので、森林の持つ公益的諸機能の低下による県民生活への影響が危ぶまれています。

このような情勢に対処するため、従来まで林業関係者を対象に開催されてきた「美秋材等良質材品評会」を発展させ、肌寒さを感じる昨年12月、「第1回木材まつり」を盛大に開催することができました。

このまつりのねらいとしては、林業関係者をはじめ、都市住民や消費者など老若男女を問わず、幅広い皆様の参加をいただき、森林の働き、木材の良さや木材を循環利用する必要性をPRし、林業・木材産業の活性化と森林の大切さについて、少なからずご理解をいただくことができ、大きな成果を収めることができました。遅くなりましたが、この「木材まつり」の概要をご紹介します。



餅まき



品評会



木の名前当てクイズ



木の重さ当てクイズ

まつりの概要

日時

平成17年12月11日(日)
午前9時30分から午後2時30分まで

場所

カルスト森林組合、サンワーク美祢両会場

主催

美秋木材まつり実行委員会
(会長/美祢市長 小竹伸夫)

参加人数

約1,000人

内容

1 森林・林業を知る

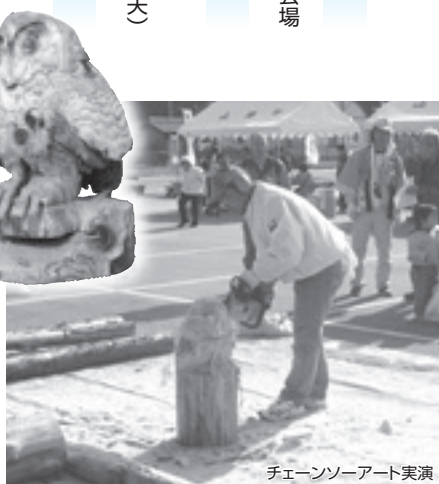
担当 美祢農林事務所

- 美秋材品評会(ヒノキ柱材 84本)
- 森林・林業の役割など紹介
- やまぐち森林づくりビジョン
- やまぐち森林づくり県民税の紹介
- ウッドシステム美秋グループの紹介
- 緑の募金の紹介
- 森林バイオマスエネルギーの紹介ほか

2 森林とのふれあい

担当 林研グループ

- 木工・竹細工体験
- 丸太早切り競争
- 木の重さ当てクイズ
- 木の実の名前当てクイズ
- チェンソーアートの実演



チェンソーアート実演

終わりに

低迷している林業・木材産業の活性化、木材の良さ、木材の地産地消の必要性、森林の大切さなどをPRすることを目的に開催し、多くの参加をいただきました。今後とも、組合の指導事業の一環として、県、市町、関係団体等の連携により、「美秋木材まつり」を定着・発展させていく必要があると考えていますので、組合員の皆様のご意見・ご提案をお寄せいただければ幸いです。

4 その他

● 飲食物販売

美祢あさぎり会(猪汁、炊き込みごはん)カルスト森林組合(うどん、焼鳥、焼いか、飲み物)

★駐車場を5箇所用意

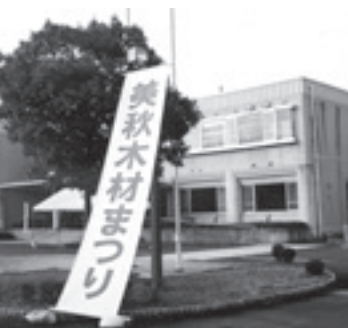
美祢市役所と会場の間を、シャトルバス(組合所有ワゴン車)運行。

★まつりツアーバスの運行
山口流域林業活性化協議会の一般公募により33名がまつりに参加され、好評であった。

バザー会場の様子



会場風景



5

森林のたより

森林のたより

4

山火事 予防!!



2月から4月にかけては空気が乾燥しますの
で、山火事が発生しやすい気象条件となります。
火気の取扱いに気をつけましょう。



去る2月21日、美祢市立厚保
中学校二年生の生徒2名（木村
貴則君、重枝達也君）が、林業を
体験したいという希望から、職場
体験学習の一環として、当組合を
訪れました。

当日は、秋山組合長の所有山
林において、組合職員の指導の下、
スギの枝打ちを体験したり、森林
のもつ多面的な機能などの説明
を受けました。二人とも枝打ちを
体験するのはこの日が初めてと
いうことで、慣れない作業に奮闘
しながらも楽しんで作業を行っ
ていたようでした。

将来、林業の担い手として活躍
してくれることを期待しています。

職場体験 学習

枝打ち体験

編集 後記

2006
vol.13

さくらの開花前線の情報を次第に
耳にするようになり、春の気配が身
近に感じられる季節になりました。
しかし、最近の天気といえば、暖か
くなったり、なごり雪が降ったり、ま
だまだ不安定な状態です。
底冷えの続く林業・木材業界にも、
早く雪解けが訪れるように期待した
いものです。



組合では現在、
地元産間伐材の
利用拡大を進め
ております。

表紙のえん堤は、
外壁に間伐材を
パネル加工し、県
の治山工事で使
用していただい
ているものです。

また、土止め三
本筋工にも利用
していただいてお
ります。

表紙の 写真

秋芳町墓方字高畑



カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番1 / TEL.0837-52-3332 / FAX.0837-52-2587

本誌は再生紙を使用しています。